

水ときらめき紀の川館に

団体の来館者がありました



流水調整課 H30.05.15

紀の川大堰の水ときらめき紀の川館に、**和歌山市立新南小学校4年生**の皆さんが見学に来られ、当事務所から流水調整課2名が対応しました。

まずは大きなスクリーンを見ながら、紀の川と紀の川大堰のことをクイズ形式で学びました。子供ならではの自由な発想で、たくさんの答えが出て充実した時間となりました。

次の魚道見学では気持ちの良い晴天でしたが、昨日の大雨で紀の川が茶色く濁り、魚道を上から見ても魚の姿は見られませんでした。しかし魚道観察室では濁りの合間にアユの稚魚がちらちら現れ、子供たちはその都度大喜びしていました。

団体見学概要

日時：平成30年5月14日(月) 13:30～14:30

会場：水ときらめき紀の川館

参加人数：42名(生徒40名、先生2名)

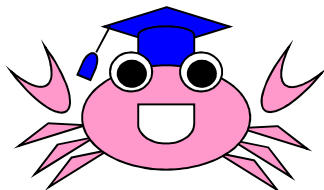
団体名：和歌山市立新南小学校4年生



1. 紀の川大堰概要説明

最初に、職員がスライドを用いて紀の川や紀の川大堰の仕組み・役割などを説明しました。

皆さん、一生懸命メモをとって、集中して話を聞いていました。



3. 館外の魚道見学



夏日の日差しのなか、ワイワイにぎやかに歩いて魚道に向かいました。



階段を降りて魚道観察室へ。反対側の入口はスロープになっています。



階段式魚道を横から見れるガラス窓に張り付き、アユを探していました。

2. 館内の見学



館内に戻り、2階操作室をガラス越しに見学。紀の川大堰に異常がないか、365日目を光らせています。



おお！なんだか
かっこいい～！

3階展望デッキで、職員の話聞く皆さんの様子。



大雨警報は出なかったものの、昨日はかなりの雨が降りましたので、2つの流量調節ゲートから、濁った川の水がゴーゴーと音を立て流れていました。

質問・疑問

Q1. (魚道観察室にて) 今泳いでいるアユはこれ以上大きくなるの？

A1. 上流へのぼって成長していき、もっと大きくなるはずですよ。遡上のピークはもう過ぎた様子で、6月になると紀の川大堰の魚道でアユの姿は見れなくなってしまいますね。

Q2. (展望デッキにて) 僕たちは、あのガラス張りのところに入れないの？

A2. あそこはゲートを持ち上げるためのワイヤーや、それを巻き上げる大きな機械が置いてあって、職員と点検のお仕事の人しか入れないのです。